

43回展 良かった点、要改善事項まとめ * 細字…良かった点 太字…要改善点 欄外◎は要議論 (アンケート要約のため又表現のニュアンスの違いあり)	
役割分担	
・事前準備のお陰で全体的にスムーズに流れていた ・適材適所、それぞれにベテランがいて的確だった。良かった。皆責任を持って行動していたと思う (複数)	1
・事業部の努力により、休日も含めしっかりと定められ運営がなされ良かった。今後も定着を望む。	2 ◎
・期間中に休息日を入れたことは良かった。(複数)	3
・絵画を中心に改善を重ね、努力を積み重ねてきた。本会を若い世代にうまく引き継げるか。皆精一杯やったと思う。	4
・ポストカード販売担当が良く役割をこなしていた。・ポストカード販売担当を先に決めて、手の空いている方が会場の見回りをしたのが良かった。	5
・役割区分を明確にし、担当者に正確に渡すことが大事だと実感した。	6
・役割を平均化するのには理想ですが、個々の生活環境、事情に違いがあり、出られない場合も考慮してほしい。	7 ◎
・工芸は工芸で、と役割分担の中に9室が入っていないが、全体の中で見てほしい。工芸の会場係がなかなかいません。	8 ◎
・ポストカード担当は2名プラス「応援」がいた方がよい。(当番に来客があった場合など一人になるのを避けたい)	9 ◎
・本展運営のためには「運営サポーター登録制」が有効では。(一度経験すればその後も任せられる。出展意欲も増す)	10 ◎
・若い人、新人の養成を! ・出品者の「出してあげている感」を無くしたい。	11
・懇親会受付は受賞者(可能性あり)は避けた方がよい(途中で作業中断となり引継ぎも難しくなる)。審査員が担当するなど再考を。	12 ◎
(委員巡回…会場管理の項も含む)	
・委員の巡回システムは良かった。(多数) ・委員の巡回はコミュニケーションの良い方法だと思う。話す中で入会希望者も出た。	13 ◎
・委員による会場巡回の方法はとても良い。支部員応援にも限界があるので効果的。	14 ◎
・委員巡回時のレポートは今後の宝物!となる。(複数) ・委員による巡回は他の会派にはない良い内容だと思う	15
・委員の巡回は制作者、来場者との対話が来て貴重な話が出来た(巡回メモ21通…他団体より作品が多種で楽しい。小作品に良い作品が多く勉強になった等)	16 ◎
・①作品保全のための人員(展示室巡回)②作品に対する質問などの対応に対する人員 ①と②の確保に苦慮。同一者で行うのはどうか。	17
・委員による巡回当番を行うので、会場係は必要ない。(工芸は別)	18
・今後当番人数の確保が難しくなってくると予想されるので、巡回などで対応できないか検討が必要。(同意見複数)	19 ◎
・会場当番を無くすのはよいが、その分委員の巡回には工夫が必要。	20
・会場当番は少なくして巡回方式にしたらどうか。・会場係必要か再考を。委員による巡回中心に	21
・巡回要領のポイント内容を定めると委員もやりやすい。	22
・巡回当番…時間にゆとりのある人がやる前提ではないが、回数が多く慌ただしく体的等で出来ない人続出。肝心の「コミュニケーション」は、作者ではなく来場者相手に「雑談」か嫌がられるので難しい。今回の成果と支障を精査し、支障が勝るなら。回数や、時間など見直しを。	23 ◎
搬入	
・搬入業務は概ね良好。・スムーズに行っていたと思う(大作が少なかったから) ・(工芸)担当が一増えたことで順調だった。	24 ◎
・受付の経理補助がよく機能した。作品の部屋割も2点の調整・移動で済んだ。	25
・作業担当が不明確なところがあった。・流れの図解マニュアル必要 ・受付の流れをもっとハッキリ示した方がよい(いきなり会計に来る方がいた)	26
・部屋割担当した。受付係とは連携・確認をしたが、PC集計係とも確認、連携が必要と感じた。提出書類の不備は搬入者がいるその場で対応が必要。	27
・申込用紙への記入ミス、未記入のまま搬入現場での記入者が多い。作品裏面への張り方(場所)のミスも。受付時のチェックを徹底する。	28 ◎
・手際よく良かった。本人搬入の作品に額装不良作品があった。搬入時点で対処できないか工夫。	29 ◎
審査	
・問題なし。良好。(複数)	30
・集計作業は担当の事前準備のお陰でスムーズにいった(複数) ・進行・記録等事前準備よく順調だった。	31
・審査前に、出てくる作品の順や券手要領などを簡単に説明することの大切さを感じた。	32
・代表の権限で一転、受賞作品があってもいい。	33 ◎
・押しボタン式なら周囲の影響を受けにくく、より正確な票が得られるのでは? 「無難な作品の受賞が多い、特色ある審査方法を」とも関係あり?	34 ◎
・下位賞の決定に時間がかかり過ぎる。審査員の余力やパソコン活用を考えたい。	35
・本当の実力にやや疑問を感じる。(入賞作品の中で、どう見ても納得できない作品が数点あった。もう少し真剣に判断していただきたい。)	36 ◎
・何でも入選させるのではなく、レベルを考慮してほしい。	37 ◎
・外部審査員の結果を内部審査員の審査結果と一緒にしないで、別個に扱うこととしたい。	38 ◎
・毎年同じような作品が受賞するのは何故?	39 ◎
・小品部門は他の団体も力を入れている。同時期に開催の他と比較すると賞が少ない。もう少し賞があってもよいかと思う。	40 ◎
・読み上げ、記録、集計は効率よく行われていたが、賞候補のうち佳作などの審査でより厳正な審査が必要。	41 ◎
・審査員の座席を毎年変えては?	42 ◎
・今期審査員との意見交換などにより要改善事項あれば検討していかなければならない。	43
・事務局が関わるのはどうかと思う。	44 ◎
・写実的な絵の評価が高すぎないか。勢いのあるタッチや独自性を追求した作品にも注目してほしい。	45
・中野外部審査員が一時不在の時があったが、これを避けるため審査のスケジュールをしっかりと伝えておいた方がいい。	46
・2次審査時の「カード」の裏に過去の受賞歴を(裏側に情報シールを張り付ける等) 個人別受賞歴のリストを基に「受賞歴カード」を作成する。	47
・外部審査員には「審査スケジュール」など渡すべき。(途中で姿が見えなくなった中野氏には驚いた)	48
・意外性や将来性ある作品なども良く審査して手を挙げたが、結局多数決で無難な作品が選ばれた。準会員等が大きな賞に入ったのは今回の成果だったが、一般会員の大作の作品減少や賞の低下もあり選択肢が少ないため結果的に「毎年同じ人ばかり」と言われても仕方ないのではないか。	49 ◎
・一次審査で高得点なのに2次審査では得点が低い問題。二次審査では複数の高得点の作品群の中での評価なのだからあり得る問題ない。	50 ◎
一次審査後、有名作家に酷似しているものは除外するので猶更だ。	
・工芸部、外部審査員が必要。・工芸部審査…公開出来良かった。外部審査委員、芳賀先生は失礼ながら・・・	51 ◎
・工芸の審査員、3名は余りにも少ない。	52
・工芸の「該当者なし」を絵画に。入賞率の改善になれば良いと思います。	53
展示	
・バランスよくまとまっていた。・割り振りピッタリ、良かった。・安定していて良かった。各支部応援でスムーズに出来た。・配置が楽しい・・・(多数)	54 ◎
・展示室の割振りには相当苦労されていたが、昨年より作品数が減少しているにも拘らず全く感じさせない良い展示だった。	55
・上位入賞者の各部屋分散展示は難しい面もあるが「見映え」を考えると実行する価値あり。	56
・全体的に見やすかった。キャプションに「油彩画」等入れたのは良かった。小作品が充実。一般の大作減少が強調されてしまった。小作品は最後の室に。	57
・二段掛けが少なく展示は良かった。受賞者の作品が各部屋に分散され良かった。	58
・作品が少なかった割には充実した感じに飾られたと思う。小品は良かった。	59
・小品部門…力作揃いで大変面白かった ・小品部門のレベルが上がった。	60
・工芸…昨年より4点少なかったが、すっきりまとまって良かった。	61
・工芸…色合いのバランスと配置が良く出来た。	62
・小品部門の数がかなり増えたのはいいが、その分大作が減少しているように感じた。大作減少に歯止めをかける対策を。	63 ◎
・キャプションや賞札の曲り、落下が多い。引付けむしりの使い方、指導徹底(キャプションの4か所トメなど意見多数)(指摘者複数)	64 ◎
・展示時の各部屋の一覧表は責任者のみに配布されているが、行き違いがあり飾り直しになり残念。用紙を渡すときに注意を。	65
・仕切りの移動(8室拡大、9室縮小)、7、8室の廃止も良い。	66
・2室に100号程度のだら不足。物足りなさを感じた。最終展示段階でのチェックが必要。	67 ◎
・大作は全体的に低かったと感じた。	68
・小品部門は 鑑賞者に分かりやすいよう(〇〇号など) 掲示に工夫を。	69 ◎

<ul style="list-style-type: none"> 作品の一般応募が激減した。要因を調べる必要がある。小品応募が増えた要因は？（今後も継続するのか） 会員の今後の予測が必要。 展示方法が部屋ごとに違いがある？（絵：明らかに下目があり気になった。工芸：上過ぎるものあり）統一を東美に依頼は？ 作品展示を会員・準会員・会友のグループ分けから、作品種別にすてみてはどうか。（油彩・日本画・水彩など） 支部ごとに出品の現状調査をし、予測を立て直す。支部ごとに新規出品者の獲得を呼びかける。（支部の協力を得る） 	70 ◎
<p>表彰式</p> <ul style="list-style-type: none"> スムーズにいったと思う。 プロジェクター運用もきめ、司会も簡潔で良かった。 部外審査員からの講評は表彰式で行うよう改善したい。（複数）・中野先生に申し訳ない状況だった。 中野先生の講評、物足りなかった（力が入っていない）。 先生方の評価をしてもらうには、もう少し勉強していただきたい。（工芸） 表彰についての作業手順や受賞者の動線についてもシミュレーションが必要と思う。 受付係をしていると表彰式の話が聞けない。（数年ごとでも担当を交替した方がよい） 受賞者の作品が講評時にプロジェクターに反映されなかったのは残念。（懇親会での講評だった為か） 代表の賞状読み上げ名前の下は「以下同文・・・」で良いのでは。 受賞者への賞品手渡し、もう一人いた方がいい。 プロジェクターを見ながらの表彰式は良かった。次年度から司会を若い方に交替してほしい。 受賞式に参加出来ない人の代理人、有り、と無しを統一しては？ 欠席（賞そのものに興味がない） 	74 ◎ 75 76 ◎ 77 78 79 80 81 82 83 ◎ 84 85 86
<p>懇親会</p> <ul style="list-style-type: none"> ゆったり楽しめた。良かった。（複数）・円滑な運営ができた。良かったです。（複数） 会員相互、部外審査員、来賓など懇親が図られ良かった。 コミュニケーションの大事な場と思う。良かった。受付は手際よくスムーズだった。 出席者リストによる名札の作成、会費の集金は円滑に出来た。・受付は各自手際よく順調に進んだ。懇親会参加者リストは通し番号が振られていてとてもやりやすかった 受賞者宛の表彰式・懇親会の出欠案内文書に、納期を入れてほしい「～までにご連絡下さい」と。連絡なく50名に電話した。委員も連絡しない人あり。 懇親会費の納入期日を決め、締め切りを過ぎて納入された方は領収書を持参してほしい。 受賞者で懇親会の会費を支払った後キャンセルし会費を返金した方がいた。「案内が分りづらい。授賞式参加に費用が掛かるのかと思った」とのこと。 電話で参加を申し込んだというご夫婦が来たが、受付リストに名前が無かったらサッサと帰られた。飛入りは可能だが電話受付等は必ず知らせてほしい。 プロジェクター（スライド）の使い方に多少工夫が必要だったかも（担当本人） 審査講評は表彰式で、・講評時（懇親会でなら）に静聴をすよう工夫する。 スケジュールを詰め込み過ぎて盛り上がりが多い。懇親会での挨拶は高位受賞者数名に絞った方がよい。（司会者本人から） 遠方からの参加者や初参加の方の挨拶は絞る。アトラクションとして、審査委員から小作品を提供して鑑賞抽選会をしては？（小品展の作品など） 会費が高い割に料理が安い。・料理があまり良くなかった。・食べ物も年配者向けのベジタブルなものにしてほしい。 食べる方が主で、受賞者が話しているにも関わらず聞く人が少ない。 	87 ◎ 88 89 90 91 ◎ 92 93 ◎ 94 ◎ 95 96 97 98 99 100
<p>搬出</p> <ul style="list-style-type: none"> 搬出者に余りポストカードを手渡し出来たのは良かった。 良かった。円滑にできた（複数）。時間ギリギリの一般搬出者が一名いたが他は順調だった。 名簿リストに沿ってチェックしながら対応、スムーズにいった。東美もしっかりしていた。 作品を大きさ、NO順に並べておくと思しやすいと思う。 搬出票にもサイズを書いてもらっては？ 予定通りに終了して良かった。・宅配便の都合により代表・事務局長が遅くまで残っているのはどんなものか。 	101 102 ◎ 103 104 105 106
<p>会場管理（委員の巡回…役員分担の項へ）</p> <ul style="list-style-type: none"> スムーズだった。（多数） 会場係常時いて、安心感がもてた。 会場に椅子があり助かったとの声がありました。 掲示板、ポストカード台、椅子の配置場所などに美術館スタッフとの事前確認が必要と感じた。 工芸部の人員の少なさを痛感。 支部応援は展示、ポストカード販売のみとし、会場当番は廃止したい。委員による会場パトロール、入館者対応を多くする。 人手不足か、どの椅子も空席状態。客への質疑応答も出来なかった。 展示室は入口を間違える人が多い。案内はがきに「入口は一階の黄色のエレベーター前」と明記してはどうか。 ポストカード販売の台移動が館より指摘されたが、台の増築又は変形など工夫が必要。 写真販売用テーブルが来場者の通路（車椅子）と重なるので次回よりレイアウト等検討。 	107 108 109 110 111 112 ◎ 113 114 ◎ 115 116
<p>ギャラリートーク</p> <ul style="list-style-type: none"> 芳賀先生のギャラリートークは毎年好評である。・新日美展には不可欠なもの。芳賀先生の特長能力による。 参加者は多く盛況だった（多数）。芳賀先生の話が聞けて良かったのでは？ 来場者も参加され、先生の説明は参考になり楽しい記憶になったと思う。 一人に時間をかけ過ぎないように担当委員の配慮を望みたい。 委員が2～3名で対話しながらギャラリートークをするというのも効果的。 たまには中野中先生にもお話ししたい。 好評で時間が足りなかった。悪いところも言ってくれると勉強になる、との声もあった。 アドバイスを受けた方が後日、そこを修正し他の展示場に出品出来たと喜んでた。 やはり工芸の方へ、いらしゃいませでした。（*2回目は講評していたと思うが…事務局） 	117 ◎ 118 119 120 ◎ 121 ◎ 122 123 124 125 ◎
<p>ワークショップ（全体）</p> <ul style="list-style-type: none"> 三つを同じ会期にせず、切り離して実施しては？ 見せるだけの展覧会でなく、来客参加型として今後も続けたい。 いづれも好評で来年も計画すべきと思うが、担当者を決めるべき。居合わせたものでテーブルや椅子を準備するのはいかがか？ 会の活性化に、又会員個々にとっても良かったと思う。 特徴ある新日美展として定着しつつあり今後広報に力をいれる。 	126 127 ◎ 128 ◎ 129 130 ◎
<p>切り絵ワークショップ *好評でした</p> <ul style="list-style-type: none"> 盛況で良いが遂行時間が長すぎ。担当者の負担が心配。 好評でした。とても良かった。指導者があまりに多く引張り出され気の毒。 来場者も体験出来る楽しい場となった。NHKの放送と相まって美しい作品の魅力と共に新日美の認知、情報発信に繋がったと思う。 作者のTV放映後ということもあり、好評だったと思う。 用意した材料が無くなるほど来ていただき、子供たちにも喜んでもらえて良かった。 TVの力は本当に大きいとつくづく感じました。 参加者の順番待ちの対応を下さってスムーズにいった。 	131 132 133 134 135 136 137
<p>動画ワークショップ *好評でした</p> <ul style="list-style-type: none"> 好評でした。またやってほしい。（多数） コンパクトに作品作りを考えておられ、大変良かった。 来場者も創作の楽しさ、美しさを共有出来て、会場全体も盛り上がったと思う。 	138 139 140

・参加出来なかったが、とても評判が良かった。京都支部の方がたくさん来てくれて、地方との繋がりが強くなってよかった。	141
・一般の人というより会員の方がみんな楽しんでたように思いました。	142
デッサン実演 *好評でした	◎
・スケッチをしたり、メモを取ったり集中した時間でした。来年のデッサン会への案内状送付希望者もいた。	143
・良かった。参加者が熱心に聞いていた。自らも描いたりしていた。張さんありがとうございました。	144
・参加者の多くが満足していたと思う。・参加出来なかったが、とても評判が良かった。	145
・支部会員の声として・・・このような企画をドンドンやってほしい。	146
・モデルの手配が漏れていて直前に湯澤さんをお願いした。（要事前チェック）	147
写真・図録	
・エラーもなくスムーズに出来たと思う。	148
・短時間で作成しなければならぬ制約の中で立派な図録が出来、今年は誤りもなかった。空白部分は仕方なかったと思う。	149 ◎
・写真は年々綺麗になってきている。良かった。・良いものが出来たと思う	150
・美しい図録だと思う。代表の挨拶文からは会の現状と取り組みが良く伝わってくる。	151
・図録は毎年でなくても良いと思う（5年ごととか）	152
・作品と写真の色味が違うのはチョットです。	153
・写真の色味が実物とかなり違うものがあつた。・空白部分が出て残念だった。	154 ◎
・昨年も縮尺率の意見を述べたが、図録における大作の会員・準会員・会友・一般の分を少し大きくする等、小作品との差は必要。費用は同じとの不公平感はあるが。	155 ◎
事務処理	
・順調に終わることが出来た。各担当に感謝したい。・スムーズに行った・円滑な処理が行われていた。・少ない人数での処理対応お疲れ様でした。（多数）	156
・極めて円滑であった。後進の育成として、事務作業の出来る人材を育成する必要がある。	157 ◎
・用品、保管箱の整理徹底すべき。「使用したら返す」「不要物の処分」。	158
・入選賞、昇格者等送付の件、当該者から「上から目線の交付と感じる」とのFAXあり。文書に気を遣う必要がある。	159
・短時間の内にミスが絶対許されない正確なデータを要求され（特に図録、ポストカード）正直限界だった。作業分難が可能な、他の方法があるか要再考。	160
・工芸の受付入力作業、二人体制でやらないとケンケン（担当）。	161
・事務室での代表、事務局長の担当される事務作業は、何時、何をやるかが分かればお手伝い出来ます（石村）	162
その他	
・来年より会員については、絵画、工芸の所属に関係なく2点以内の出品を検討し認めたい。	163
・会計資金ギリギリの折、節減項目を洗い出し、2～3年の期限を切って会員の本展出品料を別途徴収とする等、喫緊の課題として検討する。	164
・委員の休日制度は良い（多数） もっと増やしたい。	165
・会員、一般共に大作は無理だが小品なら、という人も多かったのではと思えた。小品部門の宣伝に力を入れ会を盛り上げるべく努力の要あり。	166
・ベテランの方がもっと大作を出してほしい。年一回なのだから。	167
・入口受付での作品展示室内表、イベントの案内板、受付順による口頭でのイベント案内も良かった。	168
・一般出品者でも、5～6年以上出品したら努力賞等検討を。会員への意欲も出るのでは？	169
・地方の搬出入費用対策討議の必要あり。（丸めて発送など）	170
・一般の出品者減少は会の将来にかかわる大問題。対策会議を行う必要あり。	171
・出品者減少の要因を分析すべきと思う。値上げによる影響の有無、収支の分析など。	172
・新日美がギリギリに追い込まれる経済状況の中で、衆・参議員賞獲得のために毎年数十万円もつぎ込む必要があるのか。委員から前納入までさせなければ運営できないのか。	173
・ポストカード一覧（受け渡し確認用）は50音順で、少々混乱しました。	174
・一般応募が最低5000円で出来たのに一気に倍以上になった。出品料（8000円）と図録代（3000円）で最低でも11000円掛かる。再検討が必要かと。	175
・いろいろあるけれど芸術を好む会です。楽しく、楽しく。	176
・①新日美展の1週間後が台風10号だった。その期間に開催の他団体の様子では、当日と翌日と美術館は閉鎖とのこと。会期をリスクの比較的小さい11月に移せないか。最終日や搬出日に閉館となった場合、美術館側の対策もお聞きしたいものだ。	177
②工芸の会員、特に一般応募者の作品減少は目に余る。何度も議題になっていたが何ら解決策が見いだせないのは問題だ。大きな賞がないから辞めていく応募しない一般者がいるとことで「衆議院議長賞」が事実上割り当てられたのではないのか。今一度原点に戻って、新日美の工芸の定議を決め、外部発信の推進をすべきだ。	178
③いつも同じ人はかりに負担がかかる、との趣旨で会期中にお休みを入れた体制を取ったが、うまく出来たのか聞きたい。平日働いている身としては土・日・休日返上の休みなしだった。	179